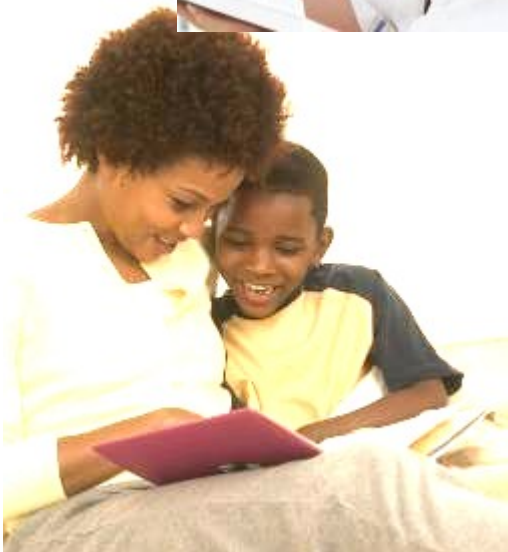


中信多文化共生ネットワーク<CTN> 2008 年度学習会  
連続講座「世界のひとと創る地域の会」(第5回)

# 米国の移民児童への教育 および日本の取組

米国は移民によって作られた国であり、移民によって活力を維持し続けている国でもあります。また、「米国内で生まれたら不法移民の子供でも自動的に米国市民」という法律の下、多くの移民が米国に集まっています。受け入れる米国側でも、移民の児童への英語教育を含め様々なサポートを行っています。また、教育機関だけでなく、市民レベルでの移民への力強いサポートも米国の大きな特徴です。それらを報告し、日本の今後にどのように活かしていけるか皆で考えられたらと思います。



**日 時：** 1月24日(土) 午後3時～5時頃

**場 所：** 松本市中央公民館 (Mウィング)  
3-2会議室

**話題提供者：** 佐藤友則

(中信多文化共生ネットワーク<CTN> 代表  
信州大学国際交流センター准教授)

**参加費：** 無 料

**申込み：** 不 要

<話題提供者より>

2008年6月に3週間、米国を横断し6都市を訪問して移民への教育の実態を見てきました。今回の学習会ではその報告をさせていただき、米国の優れた点を日本にどのように取り込めるかについて話題を提供していきたいと考えています。

主催 中信多文化共生ネットワーク<CTN>

共催 松本市中央公民館